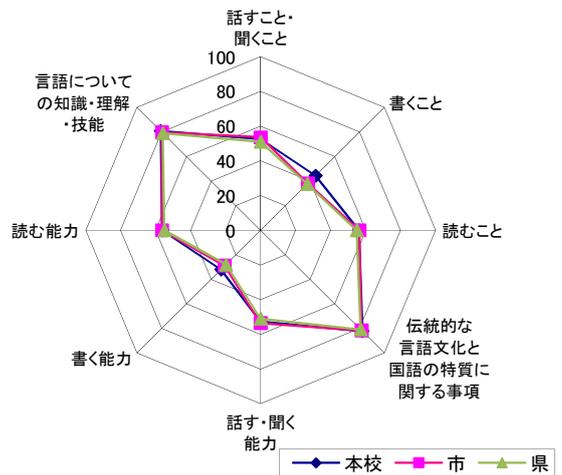


# 宇都宮市立宝木小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	52.6	53.6	51.0
	書くこと	44.4	38.1	37.6
	読むこと	56.3	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.3	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	52.6	53.6	51.0
	書く能力	32.0	29.0	28.0
	読む能力	56.3	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	80.8	79.9	79.1



## ★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○「話し方の工夫に気を付けて聞くことができるか」を問う問題の正答率は73.7%で、県平均を7.2ポイント上回っている。</p> <p>○「相手に分かりやすく説明するために適切な資料を提示することができるか」を問う問題の正答率は67.7%で、県平均を5.0ポイント上回っている。</p> <p>●「司会者の話し合いの進め方の工夫について理解しているか」を問う問題の正答率は31.6%で、県平均を8.2ポイント下回っている。</p>	<p>・日常生活においても、相手に分かりやすく話すことや、よく聞いて話し手の意図を理解することができるようにするため、個に応じた指導の充実を図っていく。</p> <p>・司会者の役割を十分に理解させるとともに、テーマに沿った話し合いを進められるようにしていく。</p>
書くこと	<p>○「与えられたテーマに対する記事を条件に合わせて書くことができるか」を問う問題の正答率は、県平均を6.8ポイント上回っている。</p> <p>●同上の問題の正答率は44.4%と、50%を切っている。</p>	<p>・自分の考えや意見を書く活動を多く取り入れるとともに、テーマを決めたり、ある条件を満たしたりして文章を書く活動を継続していく。</p>
読むこと	<p>○「叙述を基に場面の様子を読むことができるか」を問う問題の正答率は47.4%で、県平均を3.6ポイント上回っている。</p> <p>●「目的や必要に応じて中心となる語や文をとらえることができるか」を問う問題の正答率は27.1%とかなり低く、県平均と比べても1.2ポイント下回っている。</p>	<p>・人物の気持ちの変化や情景などについて、場面の移り変わりに注意しながら読み取れるようにしていく。</p> <p>・各段落ごとの内容を要約したり、段落相互の関係を明らかにしていく中で、重要な文や言葉に注目できるようにしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○「漢字の書く」問題の正答率は77.3%で、県平均を7.3ポイント上回っている。</p> <p>●「漢和辞典の使い方を理解しているか」を問う問題の正答率は65.4%で、県平均を4.0ポイント下回っている。</p> <p>●「指示語の使い方を理解しているか」を問う問題の正答率は85.7%と高いが、県平均を5.1ポイント下回っている。</p>	<p>・漢字の読み書きは、ドリル的な学習を充実させて、学年に応じた力が身に付くように継続して指導していく。</p> <p>・折に触れ、辞書を活用する学習を多く取り入れて、言語について習熟するとともに、辞書の使い方を身に付けさせていく。</p>